

腹痛の問診 大学病院 男性患者

看護師 「お早うございます。今日はどうしたんですか？」

または 「しばらくですね。今日はどうしたんですか？」

患者 「ちょっとおなかが痛いんです」

看護師 「おなか痛いのですね？いつから痛いんですか？」

「ズキンズキンとした痛みですか？」

「持続的な痛みですか？」

***痛みの種類や場所によって語形が異なるため確認する。**

患者 「痛いんです。昨晚からです」

看護師 「おなかのどこら辺が痛いんですか？」

患者 「このあたりです」

看護師 「何か食あたりしそうなものを食べましたか？」

または 「食あたりしそうなもの食べましたか？」

患者 「特にありません」

看護師 「痛くなってから、何か薬を飲みましたか？」

患者 「何も飲んでません」

看護師 「おなかが痛いほかに、何か変わったことはありますか？」

患者 「ありません」

看護師 「はい、わかりました。先生に診てもらう時に、名前をよびますから、ここで待ってください」

患者 「はい、わかりました」

*弘前大学医学部保健学科・則包和也先生の指導の下、学生丹野さんが卒業研究のために作成した共通語の問診の型見本を、今村が方言例を作成、調査した。さらに看護学部・工藤千賀子の助言を得て修正した。

腹痛の問診 かかりつけ医 男性患者

看護師 「〇〇さん、オハヨーゴザイマス。シバラクダノ。ドシタノ？」(しばらくですね。どうしたんですか?)

または 「オハヨー、ドーシテキタノサ？」(お早うございます。どうしたんですか?)

または 「ドシタノ アンベワリーノ？」(どうしましたか、具合が悪いんですか?)

患者 「ワンツカ 腹 イデーノサ」(ちょっとおなかが痛いんです)

看護師 「ハライデーノが？」 (おなか痛いの?)

「イデーノ？」(ズキンズキンとした痛みですか?)

「ヤメルノ？」(持続的な痛みですか?)

「ニヤメグノガ？」(ニヤニヤと痛いんですか?)

***津軽弁は痛みの種類によって語形が異なるため、それ専用の語形で確認する。**

患者 「ンだ、イデーノサ。」(はい、痛いんです。)

看護師 「イツカライデーノ？」(いつから痛いんですか?)

患者 「ユンベナカラダノ」(昨晚からです)

看護師 「腹ノドコアダリ イデーノサ？」(おなかのどこら辺が痛いですか?)

患者 「コゴアンダリダ」(このあたりです)

看護師 「ナンが アダルモノ クッタカ (ベが) (ベ) ?」(何か食あたりしそうなものを食べましたか?)

または「アダルエンダンモノ クッタカ」(食あたりしそうなものを食べましたか?)

患者 「トグニネー」(特にありません)

看護師 「イダグ ナッデカラ 何カ クスリッコノンダ？」

(痛くなってから、何か薬を飲みましたか?)

患者 「ナンモ ノンデネー」(何も飲んでません)

看護師 「腹イデホカニ ナニカ カワッタゴトネベガ (ねしてらベが) ?」

(おなかが痛いほかに、何か変わったことはありますか (ないですか) ?)

患者 「ナンモ ネー」(ありません)

看護師 「ハイ、わがりました。 先生サ ミデモラウ時、名前ッコヨブハンデ ココデマッテケヘ (での) (待っててくださいね)」(はい、わかりました。先生に診てもらう時に、名前をよびますから、ここで待ってください)

患者 「アー ワガタ」(はい、わかりました)